進路通信

第７号　令和８年２月 20 日
東京都立武蔵台学園
校長　金子　猛
進路指導部

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

進路通信第７号では、小学部４年生のお仕事体験、高等部の進路学習の取組について掲載いたします。3 学期も残りわずかとなりました。それぞれの学部・学年での進路学習のまとめの時期です。次の学年そして未来に向けてつながりのある支援をしていきますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

高等部　現場実習報告会

【ねらい】
(1) 実習を通して学んだことを互いに知り合う。
(2) 進路先について、関心や自覚を高める。

今年度２回目の現場実習報告会を 12 月に行いました。高等部１年生もほとんどの生徒が、短期就業体験を実施していたこともあり、報告会での聞く姿勢も１学期とは異なるように感じました。

現場実習報告会では、各学年 10 名程度の代表が、実習先、目標、仕事内容、実習での感想や次に向けての課題などを発表しました。

2年生は、進路先を考えていく材料にするための実習の発表、3年生は、卒業後の進路先を具体的に決めていくための実習の発表、同じような現場実習でも、学年によって取り組む意識が異なるため、感想でも3年生に向けての課題、卒業したら頑張っていきたいことを述べる生徒も多かったです。

来年度も、1学期と2学期に現場実習報告会を予定しています。保護者の方の参観は、高等部の保護者に限らせていただいていますが、実習先の参考や、生徒の発表の雄姿をご覧いただくべく、ぜひお越しください。

小学部4年　技能主事お仕事体験

【ねらい】
(1) 校内の環境を整備してくださっている技能主事を知り、
　　感謝の気持ちをもつ。
(2) 技能主事の仕事の内容を知る。
(3) 技能主事がしている仕事を体験する。

技能主事から掃除機とモップの使い方を教わりました。最初は、掃除機の音や重さに少し緊張した様子も見られましたが、技能主事に教えてもらった通りにノズルを動かすと、目に見えて床がきれいになり、達成感を得ることができました。モップがけは力の入れ方が難しく、最初は動かし方に苦戦しましたが、徐々にスムーズに動かせるようになりました。家庭に帰ってから、早速自分から進んで掃除をした児童もいたと聞きました。学びが生かされている様子がありました。

高等部1年 校内実習

【ねらい】

（1）一日を通した作業活動の中で働くことを意識する。

（2）校内実習を通して、自分の適性や仕事をする上での課題を認識する。

（3）職場で必要な態度やマナーを身に付ける。

12月1日（月）～12月12日（金）まで第1事業所から第3事業所の 3グループに分かれ、校内実習を行いました。第1事業所では牛乳パックのリサイクル活動や清掃活動を中心に取り組み、第2事業所では校内の受注作業を、第3事業所では企業からの受注作業を行いました。いつもと違う活動に「初めて取り組むお仕事！」とやる気満々な姿を見せる生徒も多く、働くことに興味や意欲をもつという経験をこの校内実習で積み重ねることができました。

＜校内実習の様子＞

高等部2年 現場実習

【ねらい】

(1)学校とは違う新しい環境（作業環境や対人関係、通勤、生活リズムなど）に慣れる。

(2)企業及び福祉事業所等における労働体験を通して、働くことに対して見通しをもち意欲を高める。

(3)実習を通して、作業上や生活上の自己課題を明確にし、今後の改善点を明らかにする。

(4)実習を通して、卒業後の進路先を考え、選択する力を付ける。

高等部2年生は、年間2回を基本として現場実習を行います。実習前には事前面談を行い、目標を立て、必要に応じて通勤練習も行います。実習が始まり、普段の学校生活とは異なる環境の中で、緊張しながらも実習をやり遂げた生徒が学校に戻ってくると、表情には自信が感じられるようになります。

実習後には進路面談を行います。進路面談では、実習先からいただいた実習評価票を基に、自分の強みや課題について担任や進路担当教員と一緒に整理していきます。実習前に立てた目標は達成できたか、仕事に取り組んでみてどう感じたか、言葉遣いは適切だったか、通勤に問題なかったか、分からないことや困ったことがあっ

た際に実習先の方に相談できたかなど、実習を通して初めて意識する点について振り返りを行うことで、自分の課題を前向きに捉え、将来の進路選択に生かすことができるようになります。

現場実習を通して、周囲の方と関わる力の大切さを実感する生徒もいました。今後の実習に向けて、日頃の学校生活でも、あいさつや報告・相談などを意識し、コミュニケーションの力を養っていきましょう。

同じ量になるように!

タイピング練習

1グラム単位で量ります

新規事業所のご紹介

国分寺市に就労継続支援Ｂ型事業所が開所いたしました。詳細を掲載いたしました。見学等を受け付けておりますので、ご興味のある方は直接事業所にお問い合わせください。

事業所名（運営主体）	事業種別	事業所の方針・特徴
就労継続支援 B型事業所 Mana-Viva	就労継続支援B型	ITスキルを学びながら一般就労を目指せる、新しい形の就労継続支援B型事業所です。「内職だけでなく、就職に役立つスキルを身につけたい」「働く自信をつけたいが、いきなり一般就労は不安」そんな声に寄り添い、一人ひとりのペースに合わせた支援を行っています。 主な作業内容は、データ入力、画像加工、テープ起こし、ライティング、動画編集などのパソコン業務です。初めての方でも大丈夫。わからないことはスタッフが丁寧にサポートします。 また、メタバースツール「Meta Life」を活用した在宅支援にも力を入れており、在宅でも職員とつながりながら作業に取り組めます。あなたのペースで「できること」を増やし、自信につなげながら、工賃を得て将来の一般就労を目指します。
所在地・電話番号	代表者・実習担当者	
〒185-0013 東京都国分寺市西恋ヶ窪 １丁目３６番地３号 住まいるプラザ１階 042-313-9011	管理者:泉 サービス管理責任者:大嶋 実習担当者:小池、山本	
作業内容	個別の事業所見学	その他(空き状況・他市受入・1日の流れ・行事・昼食など)
・データ入力 ・画像加工 ・ライティング ・動画編集など	保護者の直接連絡可 皆様の見学をお待ちしています。	定員：20名　新規利用見込み：若干名 他市生徒受入：あり 利用日：月曜日～金曜日(祝日も開所)　利用頻度：週1日～利用可能 在宅利用：可(Meta Lifeを活用した在宅支援あり) １日の流れ：出社10:00/昼食12:00~13:00/退所16:00 昼食：提供見込みあり(4月導入予定) 工賃：時給200円～ 行事：お花見　七夕イベント　ミニ夏祭り　クリスマス会　　など 送迎なし